

FD講演会のご案内

「TA制度改革と大学・大学院教育改善: 広島大学を事例として」(仮)
(文部科学省教育関係共同利用拠点事業)

関係各位

九州大学基幹教育院
次世代型大学教育開発センター長 川島啓二

このたび、下記の通り、公開FD講演会「TA制度改革と大学・大学院教育改善: 広島大学を事例として」(仮)を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

【趣旨】 大学における学びの空間を、どのようなアクターとその役割を想定しながら設計していくのか、そして、そのことによって学生の能動的な学びと学修成果を確かなものにしていくことが、今日の大学教育に求められています。TA制度の改革も、そのような観点から理解することが大切でしょう。TA制度改革の優れた取り組みとして、広島大学においては、2016年度より、TAを3階層に区分した新しいTA制度 Hirodai TA の運用が始められました。Hirodai TA では、教育活動には従事しないフェニックス・ティーチング・アシスタント(PTA)、教員の教育活動を支援するクオリファイド・ティーチング・アシスタント(QTA)、そしてより主体的に教育活動を行うティーチング・フェロー(TF)を設置し、それぞれに対応する研修の機会を提供することで、TAとして採用される大学院生にとっては、教育活動に関わる専門性開発の充実を、TAとともに授業を運営する教員にとっては、大学教育の充実が目ざされています。しかし、このような制度改革には、TAになる大学院生、TAを採用する教員、制度運用を組織制度面から支援する職員の理解と協力が不可欠です。本セミナーでは Hirodai TA 制度の理念と概要、研修の仕組みと概要、職員組織との連携、現時点での課題をみなさまと共有し、TA制度を通じた大学教育・大学院教育改善の可能性について探ります。

【演題】「TA制度改革と大学・大学院教育改善: 広島大学を事例として」(仮)

【講師】佐藤 万知(広島大学 高等教育研究開発センター 准教授)

【日時】平成29年7月26日(水)13:00~15:00

【会場】九州大学伊都キャンパスセンターゾーン・センター1号館4階1401号室

(福岡市西区元岡744 九州大学伊都キャンパス)

http://www.kyushu-u.ac.jp/f/30068/Ito_jp-2017.pdf

※上記キャンパスマップの59番です。

【定員】50名(先着順) 参加費: 無料

【対象】大学教職員、TA制度に関心のある教育関係者、大学院生等

【参加申込】

<http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~cfde/application/>

申込フォーマットにてお申し込みください。

【締切】7月21日(金)17:00(ただし、定員に達し次第、受付を終了します。)

【問い合わせ先】

九州大学 基幹教育院 次世代型大学教育開発センター

TEL : 092-802-6070 Mail : kyoten@artsci.kyushu-u.ac.jp

(タイトルに【7/26 講演会】と記載して頂きますと幸いです。)

*平成28年7月に、九州大学基幹教育院は「教育関係共同利用拠点」として文部科学省から認定され、その実施組織として「次世代型大学教育開発センター」を設置いたしました。教育関係共同利用拠点とは、多様化する社会と学生のニーズに応えつつ質の高い教育を提供していくために、各大学の有する人的・物的資源の共同利用等を推進するものです。

(http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigakukan/1375506.htm)

以上